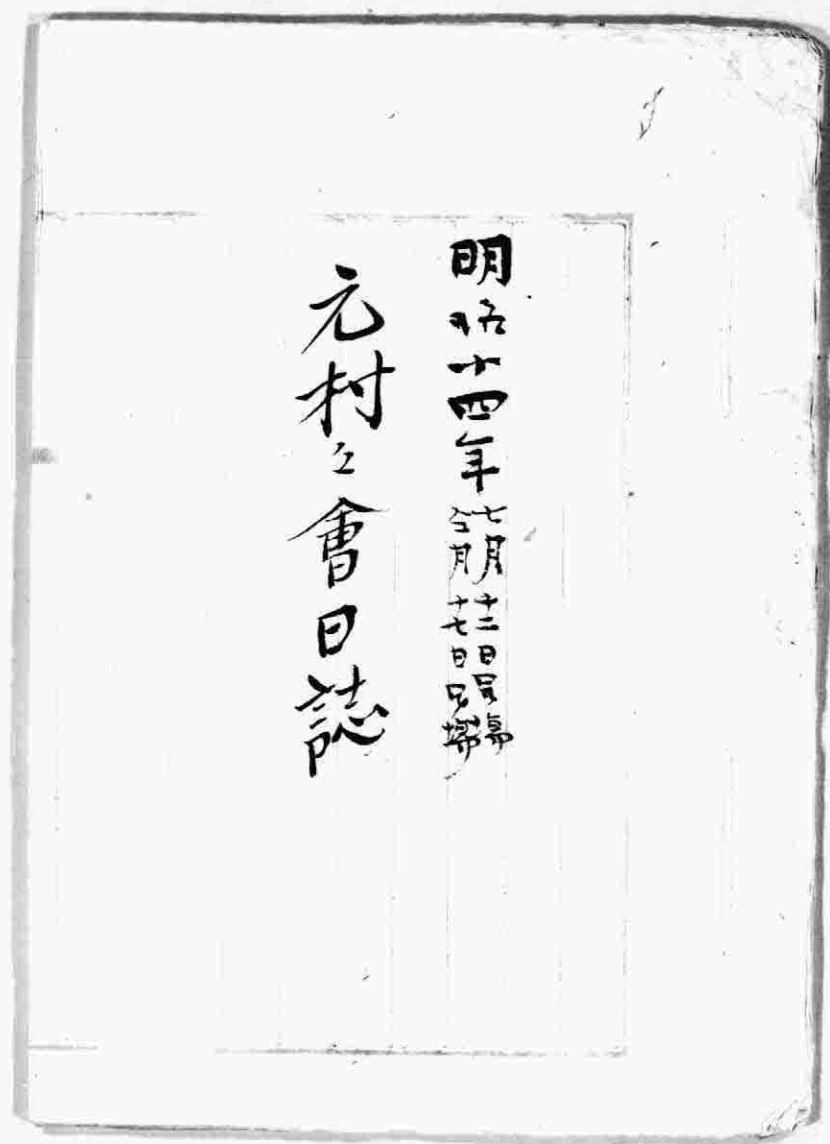




0236

安楽川村文書 I

文書
番号

025

7 9 8 9 9 28 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

那賀郡元村々會議日誌

明治十四年七月十二日 正午開場

談日、實ニ元村々會第三期會開場日ニシテ各
議員並ニ戸長津田作之丞登席シ午後一時番外
及ビ議員着席一同礼ヲ行フ於是戸長番外津田
作之丞議長席ニ就キ祝辭ヲ朗読ス其語ニ曰
ク
茲ニ本村第三期通常村會開場ニ方リ代議士諸
彦登席シ並列ヲ得ル豈可祝可悅限ナク今ヤ
十四年度ノ経費ヲ概スルニ客年議會ノ結果ニ

按り尚將來ヲ量リ本會ノ議程ヲ草起シ諸君ノ
英論ニ附ス請フ諸君誠意ノ論議ヲ致シ以テ本
村ノ公衆ヲシラ業ニ就シ他日安堵ノ盛栄ニ
致シシメシフ信ス之代議士諸君勉勵論議ノ
美譽ニ出ス其福録之亦逐年好結果ヲ得ルヲ然
リ近生次開場ニ臨ミ諸君ニ請ヒ百衆ノ爲メニ
一言以テ祝ス

那賀郡元村

明治十四年七月十二日

長津田作三郎

尋テ議及林謙之輔答辭ヲ述ブ其言ニ云フ
本日第三期通常村會開場ノ典ヲ行フ閣下親シ
ク臨場アリテ祝スルニ辭ヲ以テセラル加フル
ニ地方經濟ノ用途ト村民就業ノ用途トヲ深ク
苦慮セラル閣下今職ニ在ラ之ヲ憂ヒ生等拙劣
ナリト雖モ今任ニ在リテ之ヲ苦ム又共ニ困難
ノ極ナリ然リト雖モ村内ノ費途ト勸業トハ生
等ノ負擔スル処ニシテ全村公衆ノ荷ヲ取ナリ
故ニ生等誠實議了シ以テ該村公衆ノ望ニ適シ
又閣下ノ厚望ニ應セシトス爰ニ鄙言ヲ吐露ス

合議堂ニ代リ祝詞ニ
 明治四年七月十日
 詠終リテ番外役議長トナリ各議員之位次ヲ定
 ムルナク如シ

林謙之輔
 一番議長 陀山嘉兵衛
 二番全 森崎弥之助
 三番 陀山善四郎
 四番 津田雄三郎
 五番 田中興一郎
 六番 林 奎之進

尋テ議長及副議長ニ投票スル其當撰者左
 七番 山本善造
 八番 永長三九門
 九番 田中島左門
 十番 平野葛次
 十一番 乾直輔
 十二番 柳本重次郎
 十三番 林謙之輔
 正議長 林謙之輔
 副議長 陀山善四郎

右二人種々其任に堪ふルヲ能ハサルヲ以テ次
點ノ議算、議ルヲ得レリ望ム。(後議長曰ク一
人次點ノ議ルヲ望ムバ次點も亦次ノ議ル
ヲ望ムハ皆人ノ情ナリ如斯ニ相爲セバ議長
トナル者ナシ依テ強ニ策諾セシテラ嘆々タリ
二人止ムヲ得ズ策諾ス。

次ギシ幹事ノ投票ヲナス右様ニ當ル者

幹事 乾直助

今 津田雄三郎

于時四時ナルヲ以テ暫時休憩ヲ命ズ

四時三十分開場議長林藤之輔議長ノ席ニ着キ
書記ヲシテ議按總体ヲ朗読セシム。(五番議員然
休ヲ可トス。十番之ヲ賛成。他ニ動議ナキヲ以テ
寄立ヲ命ズ。全賛寄立ヲ以テ可決ス。(議長曰ク審
議時間何時ヲリ始メテ可ナルヤ。(五番曰ク正
午十時ヨリ開場セシ。(三番之ヲ賛成。各議員
同意ヲ表スルヲ以テ可決ス。于時六時ナルヲ以
テ散會ス。

十三日

午後二時開會書記甲第一号地價割規則ヲ朗読ス。

(三番)原案ヲ可トス。十番之ニ賛成ス。十一番(四番)
 之ニ賛成ス。議長原案ニ賛成者多キヲ以テ同意
 人者ハ密立セシム。全算寄立ヲ以テ原案ニ決ス。
 甲第二号戸数割規則ヲ書記朗読ス。(三番)曰ク戸
 数割規則ハ原案ヲ可トス。レに昨午ト今年トハ
 戸毎ノ盛衰アルヲ以テ先ツ下調ベテ致シテ後
 戸数等級ヲ議ス。十番三番ニ賛成ス。(議長)三番
 十番ニ同意人者ハ密立セシム。全算寄立ヲ以テ
 可決ス。(三番)曰ク戸数等級ヲ下調スルニハ
 査委員ヲ置キ取調アリ。又委員ヲ置キ投票ス

べシ。(三番)拾番ニ賛成ス。(議長)曰ク十番ニ同意人
 者ハ密立セシム。全算寄立ヲ以テ可決ス。
 尋テ等級調査委員ハ投票ヲナシ談議ニ當ル者
 也。
 戸数等級調査委員
 森崎弥之助
 柳本重次郎
 田中慎一郎
 乾新直 輔
 談調査人ハ明十四日早朝戸数調査ニ決ス。
 甲第三号衛生課諸費額ハ書記朗読ス。(番外)昨

年々衛生委員ノ年給ハ二円也。此等ノ内、今年ハ六円
ト成シタル下ヨリ種々説明。十番曰ク、原案ヨリ可
ナスレハ、村用係リト衛生委員ト業務スルハ、
自然費用ト輕ク且、他人ニテ給ルハ、年給モ稍
多クナルヲ以テ斯ク爲セ、可ナリ。議長意見ヲ
述べ、ト欲シ副議長ニ代テ請フ。副議長、亦意見
見アルヲ以テ他ノ議員ニ代テ、ト述べ、十番
曰ク、然ルハ、番外ニ代テ乞ヤバ可ナリ。三番、十番ニ
賛成ス。衆議員之ヲ可トス。是ニ於テ番外議長ニ
代テ、(十三番)曰ク、金額ハ原案ヲ賛成スレハ、衛生

ハ至極所要ノ一ナシ。衛生上ニ関スル下ニ付
テ、至極注意致ス。梳ニ可爲。若シ流行病ノ患者
有之、死者及ビ汚穢物ヲ取扱フ賃錢、極貧者ヲ
除クノ外ハ、自費タルベシ。(三番)曰ク、農家ニ、月
ニ一度ツ、巡回シテモ、執行届キ難シ。依リテ月
ニ一度トシテ年給ヲ安クセシ。(及議長、原案ニ
付種々説明ス。(十三番)曰ク、五時ト近キヲ以テ暫
時休憩シテ、議長之ヲ許ス。
五時三十分再會。議長曰ク、此事ハ容易ニ決シ難
キヲ以テ、明十四日ノ會議ニ附セシトナリ。各議

賛之ニ賛成スルヲ以テ決ス。於是議長任議長
代リ書記ヲシテ。甲第四号ヲ朗読セシム。(十番)并
当科ヲ代表トシテ。過當ナリ依テ十五號トシ
テ可ナリ。(三番)十番ヲ讀マ可トシ是ニ同意シ餘
ハ原案ヲ可トス。(十一番)三番ニ賛成ス。於是三番
ニ同意ノ者ヲシテ寄立ヤシム。全賛寄立ヲ以テ
可決ス。尋デ

甲第五号ヲ書記朗読ス。(議長)曰ク生学務委員十
ルヲ以テ番外ニ代リ乞ヒ意見ヲ述ベント欲ス。
(三番)賛成ス。(十番)曰ク此事件容易ニ決シ難シ然

ルニ時己ニ遅ク且議賛ノ少殺ナルヲ以テ明日
ニ譲ラントテ述ブ。(三番)之ニ賛成ス。(議長)之ニ同
意ヲ呼ブ。全賛寄立ヲ以テ十番ハ説ニ可決ス。
乙第一号諮問議案ヲ書記朗読ス。(番外)談議極
付説明ニ筆生ハ勉強ナルヲ以テ五拾號ノ増給
ヲナシ市場村ニモ原案ニ賛成シタルヲ談村ニ
モ同組合部落ナシモ原案ニ賛成ヤシヲ望ム。
(十番)曰ク番外説明ノ如ク同組合市場村モ原案
ニ賛成スルハ談村ニモ原案ニ賛成セシ。(三番)十
番ニ同意ス。於是(議長)十番ニ同意ノ者ハ寄立セ

シム。全費需立ヲ以テ可決ス。時ニ六時三十分ナ
ルヲ以テ限散ス

十四日

午後二時開議。如和学校教師意見書ヲ建議母
ヲ呈シ且朗読ス。尋テ甲第二級戸教等級表ノ修
正案ヲ以テ案議ス。(十番)曰ク等級ヲ議スルニハ
一等ヨリ一級ツテ讀ミ下シテ議セシ。議長曰ク
斯ノ如クヤハ同異等ノ上下スルニハ差支アリ。
(拾番)曰ク其議内ニ同テト照準シテ不致平ナレ
其時トニ上下シテ議ヤハ差支上ニシト。(三番)之

ニ賛成ス他ニ賛成者多キヲ以テ可決ス。

一等ノ動議ナキヲ以テ修正案ノ通り決ス。

二等ノ上(十番)曰ク是モ京校ノ通りニ賛成セシ
惣賛同意ナキヲ以テ可決ス。

二等ノ下(十番)修正案ヲ可決ス。(二番)賛成全賛同
意ヲ以テ可決ス。

三等ノ上(十二番)曰ク柳水重次郎ハ一等下シ三

等ノ下ニシテ可ナリ。(三番)京校ニ可トス。(十一番)

三番ニ賛成ス。(十二番)三番ヲ駁シテ曰ク如何ニ
モ上リ過リアリ故ニ一等下シテ公平ニ爲スベシ

三番曰聊カノ幸不幸何等ニテ之ヲ是
サ悉ク公平ニスルハ毎ニ等分タレバ
ラズ故ニ大抵一ノ強ヲ原案之通リニ決メ
ル(四番)三番ノ説ノ賛成ス。於是議長三番ニ同意
ノ者ニ寄立ヤシム。多敷ナル以テ可決ス
三等ノ下(十番)平野葛次。昨年ヨリ一等進ミ
ラアルハ何ノ見込ヲ以テタルヤ見込ナク
一等下シテ可ナリ(十一番)曰ク平野葛次ノ原案
ノ通リニ可ナリ(三番)曰ク昨年ハ一等下ナリ故
ニ上シテ公平ニナレリ(十番)曰ク平野葛次

營業トシ故ニ下シテ可ナリ(十一番)十番ノ説ヲ
取シテ曰ク營業スル者ノ營業税アリ平野葛次
ノ作督ヲ以テ計ラ立ル者ナリ故ニ原案ニ
可ナリ(十番)同意者ナキ以テ原案ニ可決ス
四等ノ上(十番)曰ク森崎弥之助ハ一等上シ三番
下シテ可ナリ(二番)十番ノ説ニ曰ク森崎弥
之助ノ家ニ老人教養ニ病身ノ幼児アリ且ツ
建地價亦少ク減少故ニ一等下シ四等ノ
下ニシテ可ナリ(三番)原案ヲ可トス之ニ賛成者
多キヲ以テ原案ニ可決ス。議長ニ決ス

四等ノ下勅議ナキヲ以テ原按ニ決ス。
 五等ノ上原按通ニ決ス。
 五等ノ下原按通ニ決ス。
 六等ノ上(九番)曰ク林久々郎第一級進ニ過リ
 故ニ六等ノ下ニシテ可ナリ。(四番)九番ノ賛
 成ス他九番ノ賛成者多キヲ以テ可決ス。
 六等ノ下勅議ナキヲ以テ原按ニ可決ス。時ニ四
 時三十分ナレバ以テ暫時休憩ス。
 五時再開議。
 七等ノ上(三番)曰ク金沢勝之助ハ六等ノ下ニ上

シテ可ナリ。之ニ賛成者多キヲ以テ可決ス。(四番)
 曰ク藤垣長兵衛ハ七等ノ下ニシテ可ナリ。(十一
 番)賛成ニ之ニ依テ四番ノ説ニ決ス。
 七等ノ下(一番)曰ク片山久吉ハ一等下レハ等ノ
 上ニシテ可ナリ。(二番)賛成(九番)曰ク永蒙久吉モ
 八等ノ上ニシテ可ナリ。二者賛成多キヲ以テ可
 決ス。
 八等ノ上原按ニ可決ス。
 八等ノ下原按ニ勅議ナキヲ以テ可決ス。
 九等ノ上原按ノ通りニ決ス。

九等ノ下。案據し勸議ナキヲ以テ可決ス
 十等(三番)曰ク仁木照澤。九等ノ下ニ上シテ可
 ナリ。四番(十番)之。賛成シ他ニ同意者アリハ以
 テ可決ス。
 等外(十一番)飯田忠兵衛鈴木惣八ハ十等へ上シ
 テ可ナリ。四番賛成。他ニ勸議ナキヲ以テ可決ス。
 (十番)戸数百四十一戸ニ滿テ餘ニ等外ニテ除
 ケベシ。三番賛成。十番ノ説ニ決ス。于時六時主
 十方ナリ。以テ散會ス

十五日

午後二時開場。甲第三縣衛生諸費ノフシ議ス。三
 番曰ク繫給ハ三円トシテ村中巡回ノ日ハ相当
 ハ日當ヲ給スベシ但シ巡回ハ夏五月ヨリ八月
 迄ハ月々一度餘ハ二月ハ一度トスベシ。十番三
 番ノ説ヲ駁シテ曰ク昨年来ヨリ管ノ建シモア
 リ且ツ衛生ハ皆人民健康ヲ有ツニ依ベカニザ
 リ要項ナリ。原案ノ如ク月々二度ガ巡回ハ
 テ當然シ。人民自然衛生上ニ注意スルヲ以テ
 最初ハ一週ト曰キ覺スベケレバ到底毎日
 巡回スルノ様ナラズベシ。因ニ村用係リト兼務

一月一四ツ、給シラ可ナリ。(二番)曰ク昔シ傳染
病、イハレハ、繫給、内ニアルハ、吾等ハ、皆、向
(十番)曰ク傳染病、多クアルハ、其、日夜出頭ノ時
アリ故ニ、繫給、外ニシテ、可ナリ。(三番)曰ク、斯
如クヤ、村費、提、入、故ニ、繫給計リニシテ、可
ナリ。(十番)曰ク、二番ノ言フ如クセバ、病氣流行
時ニ出頭スルモ、吾等、種々言フハ、露人(番
外)議按ニ付種々説明シ、畧十番ノ説、可トス。(三
番)衛生委員ノ、素ヨリ、歐、バカナル者ナ
レ、村費モ、亦想像ヤザル、可ナラズ故ニ、年給五

四、村用係リノ年給、五、内トシ、種痘日出頭ノ日
、相当ノ日、當、フ、ハ、要病ノ患者アル中、誤家
ヨリ、日、當、ラ、出、ス、マシ、但シ、極貧ノモ、ハ、村費ニ
ス、バ、シ、(十番)三番ノ説、駁シ、種々討論ス。(二番)前
説、消シ、改メ、ラ、曰ク、衛生係リ、村用係リト、兼務
ラ、ナシ、年給、十三、内、トシ、若シ、傳染病アルハ、戸
數等、級表ニ、ヨリ、テ、署々、外ニ、衛生係リノ義務ト
シ、テ、日、當、ラ、取、リ、ス、ル、等、キ、リ、以上、誤、家、ニ、五
拾、銭、ノ、日、當、ラ、取、ル、可シ。(二番)説ニ、賛成者多キ
ヲ、以、テ、可、決、ス。于、時、三、時、二十、分、ナル、ヲ、以、テ、休、憩、

三時五十分再會議(議長意見アモ述ベシ議員
各席ニ列ス(番外)議長ニ代リ着席(当校教師建議
ヤルヲ以テ説明ノ爲ニ番外ノ席ニ移リ於是
書記申渡シ強ク朗讀ス(十三番)學務委員(内書
ニ付説明(議長)モ亦維持方法ニ付説明書記建議
按テ朗讀ス(教師)建議理由ニ付説明(十三番)元村
市場ノ面接合併ノ事ヲ決メ事ヲ知シに客年未
ヨリ屢々會議セシマレ代客易ニ決シ難シ故
ニ村民ニ協議ノ上ニ決ヤシ又學務委員(給料
ヲ付ル)ハ論議ス可キ事ナシト談村極意ナ

レバ資金少々増加スル道ニ義務トシテ無難ニ
ラナス様ニセシ。助教ヲ置クモ前ナリト同下食
校ナレバ暫時資金ノ出来ル方法ヲ待テ後ニ
置カシ。生徒ニ授業料ヲ取ルモ勿論取リテ可ナ
レ氏談村資金多クモ民情ニサハルヲアリ故
ニ度シラ可ナリ(教師)曰ク兩校合併ノ七八十三
番ノ言ハ如クハ可ナリ然レ氏建議ハ村民ノ公
撰ニナル者ナレバ人民ノ計ラズトモ可ナリ。學
務委員ニ給料ノ事ハ委員ノ義務ナリト云テ傍
觀ニテ居ルハ三天ヲ盡シタリト云云忍ビガハ

延ナリ故ニ必ズ裁許事給スベシ生徒、授業科
ヲ取ルニ因テ本意ニミズ然レ止シ得サ
此處アルヲ以テ建議セリ併ニテ十三番ニ同意
ナリ。(二番)曰ク十三番ニ同意ナリ然レ此學務委
員、給興ノ、給料トモ謝儀ナレ裁許ヲ
給セ。(議長)建議按ハ種々説明ス(十番)先ツ豫
算大畧決定シ裁許セ。(教師)先ツ助教ハ四円ノ
給料ト見做シ内一円是當教師義務ナレ裁許
セ。(三番)曰ク本按ノ、計リ先ツ議ヤ同如何。
(議長)曰ク本按ノ、計リ先ツ議シテ後キニ建議

抑シ議スルハ元ヲ本務ナリ然レ先ツ資金
ヲ醸スハ、イヨリ議スベシ。(十三番)資金ヲ醸スル
ハ、本按ニシテ容易ニ企タルハ出来テ故ニ
進ニ醸金ニ着キヤ。(議長)曰ク本按ニシテ有志者
ヲ募リ醸金スベキ委員ヲ撰ビ募ルベキハ決シ
タリ。(十三番)醸金ニ爲スハ議算中ニシテ出来バ
必ズ本村ノ有志者ヲ集メテ成スベキナレバ
本按ニシテ決スベカラズ。(十番)醸金ノ方法ハ不
容易故ニ當會議ハ本按ニシテ後進ナシ有志者ヲ
加ヘ會議ニ同キ方法ヲ議セ。(十三番)十番ニ

賛成ス。於是議長十番ニ同意ノ者ヲ要スヤミハ
 心ニ多教十番以テ可決ス。于時六時三十分十
 ルヲ以テ閉場ス。
 十六日
 午前十時開會ニ当校教師ノ建議按テ議ス。議長
 意見ヲ以テ以テ副議長ニ代ル。十三番曰ク昨日
 建議按ヲ朗読セリ然レモ未ダ了解セザル処口
 ヲリ故ニ今一度開テ得シ。書記建議按ヲ朗読ス。
 十番両校合併ノ一々客年未ヨリ屢々合議セリ
 然レモ未ダ資金ノ足ラザルヲ以テ決スルヲ能

ハズ資金ニ充テルニ如何様トモナルベシ
 故ニ資金集募ノ後ニ決議セシ。十三番十番ニ賛
 成セリ又助教師ヲ入ルハ一々可ナレバ資金不
 足ナレハ先延引シテ後文部省ヨリ教則更定ノ
 下ル中ニ如何様トモシテ助教師ヲ入レン只今
 教師一名ニテ可ナリ若又資金ノ出来方ニ因
 テ助教師ヲ入ルベシ。二番十三番ニ賛成ス他ニ賛
 成者多キヲ以テ可決ス。十三番等二節ノ学務委
 員ノ資料ヲ以テ討論学務委員ニ用務モ多ク
 ハ給子スベキヲナレバ教育上妨害ニナルト云

フ助衆ヲサヘ置カザシ。先ツ学務委員。義務
トシテ無給ニシ依賴セシ。若シ資本ノ足レハ
何時ナリニ相対。給料ヲナシ。十番曰ク實ニ
十三番ノ言。如ク学務委員ニ。給料ヲ與ヘザ
ル可カラズ然レハ當今。撫養村ナレバ学資金
ヲ募ルタル上ニ。如何様上ニシテ給ナシ只今
ハ義務トシテ無給ニシ依賴スベシ。四番。十
番。十一番。成ヌ。於是カ。議長。十番。同意。ナリ。皆
異ニシ。以テ可決ス。十三番。第三節。授業料ヲ取ル
ハ。勿論取リテ可ナリ然レハ以前五銭。一。募集

セ。トアリ然ルニ村民熱心者多キ故ニ漸ク学
校ノ衰^校成セリ故ニ先年有志者ヨリ。釀金ニ
テ。授業料ヲ取ラズ故ニ。稍々。盛^校起リ然ル
ニ今又。授業料ヲ取ル。衰^校忽チ至リ。故ニ取
ル可カラズ。十番。曰ク。授業料ヲ取ラサルハ。資
金ニ乏シキヲ以テ。維持方立難シ。依テ釀金ノ上
ニ多少ノ。授業料ヲ取ラシ。四番。十番。賛成ス。十
三番。曰ク。十番。説至極ナリ然レモ。聊カニシ
テ取ル。ハ。貧民費用ニ因リ。就學セズ然ルハ。ハ
学務委員。ハ。ハ。者甚ダ困難ナリ故ニ取ラザル

様ニセテ。十番曰ク校業料取リ度ハ無キハ
十三番ニ同意トモ。醗金ノ是レケレ止ニ
得バ少々ナリトモ取ラザルハ故ニ醗金
高コヨリ取ルカ否カシ決セシ。十三番曰ク醗
金ノ不足スルハ申ハ。我ニ賦課シテナク取リ
立ラセ然レハ維持方立ベシ。十番若シ義務ハ無
キ者出サザレハ強テ取リ立ル權ナシ。十三番
曰ク協議堂トシテ。長役場ヨリ取リ立ルハ
ヨリノ成則モアリ故ニ好ナシト。於是議長十番
ニ同意ノ者ヲ寓立セシタルニ多数ナルヲ以テ

十番ノ説ニ可決ス。于時正十二時ナルヲ以テ休
憩ニ盡シテ。午後一時再開議。乙第ニ殊土木ノ件ヲ書記朗読
ス。三番曰ク土木ノ件ハ昨年第二期會ノ中。交覆
審議ニ及バテ。未別ニ變更スベキケルナシ故
ニ第二期會ノ決議セシ所ニ決スベシ。各議員之
ハ賛成スルヲ以テ可決ス。二期會ノ決議左ニ如
シ。第一大涌尾井筋惣支別掛リ。決ス。第二大井
筋校溝字北溝上六反橋ヨリ下ニ市場村界迄五
ノ丈以下。地片手渡ミ五人丈以上ハ該溝掛リ

有田者凌ぎ此決る。第三溜池、談感、有田者限
 更年。第四不動谷上石橋其上、一曲、南見り
 姫水分水道。白岩谷上龍、下木戸口橋近。字
 片山下南白岩谷口過り北不動谷口橋近。以上
 三ヶ所、五人走以下、地行半凌ぎ、五人走以上
 村凌ぎ。第五西市場村界ヨリ東段新田村界近。
 北段新田村界ヨリ南神田村界近。北字セシ
 水平久太郎地通ッヨリ南神田村界字廻り
 田上南京地通ッ。北六反橋ヨリ南姫水分水道
 側道路、東、右、四ヶ所悉皆村凌ぎ、但地價ハ七分ニ

決る。第六三昧道市場村界字中田過ヨリ三昧道
 市場尾村西村立倉修繕決る。第七村中縦横
 小道、村中惣出潰レ人走ヲ以テ秋、彼岸中
 修繕スル決る。于時午後三時三十分ナリ
 以テ暫時休憩ス。
 三時開會。書記乙第三號ヲ朗読ス。第一條、十番曰
 ク調査委員ヲ三名トシテ、之ヲ賛成者多
 キヲ以テ可決ス。第二條、三番曰ク、二十五號ト
 三番曰ク、二番曰ク、三番曰ク、五番三番
 賛成ス。其他全ク二番賛成ス。以テ可決

三番三條(三番)調査は大量係、本村内地立
同王投票廿七多投に決せん。全負賛成、
以て決る。(十一番)賛同被擧薦日爲る也。議長
曰く被擧薦ヲ拒ムル投票スルヲ可トス。(十
一番)曰く然るに多人被擧ルに當り騷擾ヲ加フ
ハ、故に議算中ニ投票シテ被擧人ヲ定メ
シ。(三番)賛成。(議長)曰く十一番、同意者、
立也。又全算寄立ル可決ス。被擧薦、十四番
決る。第四條、第五條、原案通り決る。是
於し本村三議終る。四時、以て休憩ス。

四時三十分開會。前議決スル如ク確定議
ヲ議スル。案前議決ノ通り決る。是、於し
閉場ノ式ヲ行ヒ退散ス。

右



0256

安楽川村文書 I 文書
番号

025

